

人にやさしくまちはぐり

次に人にやさしいまちづくりといたしまして、平成14年度から国庫補助事業として推進してまいりました学校いきいきプランが、平成16年度に補助事業としての期限が切れることから、平

「木造住宅耐震診断助成事業」「木造住宅耐震改修工事助成事業」「スクールゾーン内危険ブロック塀等除去事業」「生け垣等設置助成事業」を継続実施してまいります。

また、住宅などの地震災害予防につきましては、平成17年度においても「木造住宅耐震診断助成事業」

教育関係につきましては、施設整備として、本年度実施しております耐震診断結果を基に、引き続き教育施設の耐震化を図ってまいります。

また、平成15年度で終了した土地分類細部調査事業の成果である土地に関するさまざまな電子地図データは、現在、ハザードマップ整備などの基礎データとして活用されておりますが、今後の各種行政施策へのさらなる有効活用と電子地図データの公開に向けて、統合型GIS（地理情報システム）事業を推進してまいります。

主防災組織づくりと育成支援を行ってまいります。さらに、災害発生時の緊急避難対策として、毛布や飲料水などの防災備品を計画的に整備するなど、災害予防の促進を図ってまいります。

また、平成15年度で終了した土地分類細部調査事業の成果である土地に関するさまざまな電子地図データは、現在、ハザードマップ整備などの基礎データとして活用されておりますが、今後の各種行政施策へのさらなる有効活用と電子地図データの公開に向けて、統合型GIS（地理情報システム）事業を推進してまいります。

また、平成15年度で終了した土地分類細部調査事業の成果である土地に関するさまざまな電子地図データは、現在、ハザードマップ整備などの基礎データとして活用されておりますが、今後の各種行政施策へのさらなる有効活用と電子地図データの公開に向けて、統合型GIS（地理情報システム）事業を推進してまいります。

平成17年度新規事業紹介②

「白石市きらめき推進事業奨励補助金」を創設しました～各地域のさらなる発展と地域主導型の地域づくりを推進～

市では4月から、地区公民館の管理運営をお願いするまちづくり協議会などの皆さんが、自らの発想をもとに地区民を対象とした文化・スポーツ・生涯学習などの定着を目指して実施する各種事業に対して補助金を交付します。

●対象となる地域

- ①各まちづくり協議会（越河・斎川・大平・大鷹沢・白川・福岡・深谷・小原）
②鷹巣地区コミュニティセンター、奥州街道ふれあいの館、城東コミュニティセンター設置地域

●対象となる事業

- ①文化・スポーツ・生涯学習などのソフト事業
②市長が地域活性化推進に必要と特に認める事業

●補助内容

【自主事業】

- 補助率：補助対象経費の1/2以内
補助限度額：1事業につき100万円
補助期間：3年以内

【国県補助活用事業】

- 補助率：国県補助を除いた経費の1/3以内
補助限度額：1事業につき50万円
補助期間：3年以内

●申請・問い合わせ先 社会教育課（中央公民館内）☎22-1343



考えであります。

さらに、緊急経済産業再生事業を活用し、スパシユランドしろいしと小原明戸地区を結ぶ（仮称）「夢のかけ橋」新設工事を実施し、交流人口の拡大を図ることにより本市の活性化を促進してまいります。

また、白鳥などの水鳥が毎年数多く飛来する、馬牛沼ため池を野鳥観察ポイントとして一体的に整備するため、平成17年度は駐車場、翌年度に既存の観

成17年度については、本市単独で教員補助者を採用し、特に障害を持つ児童生徒にかかる特殊教育分野において、学校いきいきプラン事業を継続させてまいります。

また、シリウスに隣接する農業ハウスを活用した、親子のふれあい活動あるいは児童生徒の食農教育、環境教育についても、引き続き推進してまいります。

多様化する子育て支援ニーズに、トータルに対応するための組織再編として「子ども家庭課」を創設し、延長保育を実施するとともに、家庭相談員の増員など、よりきめ細やかな支援の充実を図ってまいりますとともに、白石市男女共同参画基本計画「めざそうプラン」に基づいて、引き続き男女共同参画社会の実現を目指してまいります。

また、「白石市誕生祝い金」を創設し、将来地域の宝となり次世代の白石市を担う子どもの誕生を記念するとともに、心身ともに健やかな成長を願い、その前途を祝福してまいります。

現在、本市は65歳以上の市民が約1万人となり、超高齢社会を迎えております。高齢者施策の充実を図るため、組織再編により「長寿課」を創設し、高齢者福祉サービスと介護保険運営の連携を強め、在宅において介護を必要とする高齢者やその家族に対して、総合的な相談、支援にに応じてまいります。また、公共輸送事業については、こ

平成17年度新規事業紹介③

「白石市誕生祝い金」を創設しました

～地域の宝・新しい生命の誕生を祝して～

白石市民として誕生した新しい生命が、将来地域の宝となるよう前途を祝福し、心身共に健やかに成長することを願って、保護者の方に従来からの「誕生証書」・「災害見舞金カード」とあわせて、新たに「誕生祝い金」を贈呈します。

●贈呈対象 平成17年4月1日以降に出生したお子さん

●贈呈要件

- ①白石市民として市の住民基本台帳に登録され、現に1年以上引き続いて白石市内に居住しているご夫婦（未婚の女性を含む）にお子さん誕生した場合
②婚姻を契機として白石市に転入したご夫婦にお子さん誕生した場合

合（婚姻届提出の前後1カ月以内に転入された方に贈呈します）

●誕生祝い金の内容

- 第1子 10,000円
第2子 20,000円
第3子以降 30,000円

●贈呈方法

市民課に出生届を提出した際に、市民課備え付けの「確認同意書」に記入・押印いただき、現金で誕生祝い金を贈呈します。

なお、白石市外の市町村や時間外に出生届を提出された方には、後日通知書を郵送しますので、改めて市民課にご来庁の上、誕生祝い金を受領いただきます。



●留意事項

「確認同意書」提出時に、ご夫婦が納期到来分まで市税を完納していない場合は、誕生祝い金を贈呈できませんのでご了承ください。

●誕生祝い金に関する問い合わせ先 子ども家庭課 ☎22-1363



▲開門10周年を迎える白石城

察デッキまでの歩行者用通路およびトイレなどを整備してまいります。中心市街地の活性化につきましては、本年3月に整備完了いたします「すまいるひろば」を活用し、多くの人が集まり賑わいと豊かさを見つけることのできるまちづくりを推進するため、市民の皆様や地元商店街組合、まちづくり株式会社などが行うイベントなどへの支援を行ってまいります。また、経済対策につきましては、本市独自の再就職促進奨励金と中小企業振興資金融資限度額2千万円の維持、保証料の全額補給を継続してまいります。

平成17年度は、白石城が開門して10周年を迎える年であります。この記念すべき年を、市民の皆様とともに祝う



▲昨年6月に実施した白石市総合防災訓練

安全・安心な防災のまちづくり

ため、市民による実行委員会を組織し、市民参加型の白石城開門10周年記念事業を展開してまいります。

次に安全・安心な防災のまちづくりとしまして、近い将来、高い確率で発生すると予想されている宮城県沖地震への対策を図りながら、安全に安心して暮らせる生活環境を維持するため、災害対策基本法に基づき、平成16年度に改定した白石市地域防災計画により、水害および地震のハザードマップを全世帯に配布すると同時に、地域防災懇談会を各地区で開催するなど、市民の防災意識の向上を図りながら、自